

# WAFCA REPORT

今号は、WAFCA支援国(タイ、中国、インドネシア)での主な取り組みを紹介します。

## ▶ 2014年度 タイ障がい児教育支援事業 ◀

車いすの提供だけでは、障がい児の就学・通学をサポートするのに不十分であるため、障がい児が車いすで通学し、適切な教育を受け、将来社会で自活できるようになるために奨学金を送っています。今年度は233人に送ることができました!

### 奨学金のおもな使途 (13年度アンケート調査結果より)



昼食・おやつ



制服



医療・リハビリ



通学靴・靴下



文具

### 教育支援事業の1年の流れ

4月

- 継続・新規奨学生の申請受付(1月~)

5月

● 新学年開始

- 新規奨学生現地訪問調査

6月

- 奨学生リストの作成・確定

7月

- 奨学生 & ドナーのマッチング

8月

- 教員セミナー
- 奨学金授与式 & 振込み

9月

- 学校バリアフリー申請受付

10月

- 現地活動報告会
- 奨学生代表の日本研修

11月

- 学校バリアフリー工事開始
- フレンドシップツアー訪問

12月

- 学校バリアフリー工事終了

1月

- ドリーム & フレンドシップキャンプ

2月

- バリアフリートイレ完成式典 & バリアフリー教室

3月

- 年間報告書

奨学生ジェッサダーくん  
来日研修のようす(10/7-12)



車いすドクターさんがジェッサダーくんの普段使っている車いすの点検調整をしました。

P.2で報告しています!



東浦町立片葩(かたは)小学校で6年生の授業に参加し、日本の習字、折り紙、和太鼓を体験し、交流を深めました。

P.4でご寄付をお願いしています!



刈谷市内のカフェで行った奨学金現地活動報告会では、作文を通して思いや将来の夢を発表しました。

## タイ車いすフォローアップ活動 (車いす移動クリニック&車いす寄贈後調査)

### 車いす移動クリニック 8月



車いす使用者のスラポーンさん(写真左)が中心となり、車いすを無料で修理しています。経済的に困難な障がい者や高齢者を対象とするこの活動を、WAFCAは支援しています。

### 車いす寄贈後調査 8月

#### オート君 5歳 (脳性まひ)

2年前に、WAFCAから車いすを寄贈しました。日中は家の中のハンモックに寝たきりですが、夕方のお散歩に車いすを使うそうです。おじいさんが、いつも付き添ってくれるそうです。



#### フレッシュ君 6歳 (脳性まひ)

リハビリ、マッサージをかねて特殊教育センターへ通学するときに、車いすを使用しているそうです。



## タイフレンドシップツアー (11月7~11日 チェンライ・バンコク)

### ツアー概要

11/ 7(金)

11:00 セントレア発  
15:00 タイバンコク着  
チャンライへ移動

11/ 8(土)

午前: 車いす修理活動開始  
午後: 車いす寄贈式  
夕方よりタイ人との交流パーティー  
ロイクラトーン、コムローイ  
(灯籠流し、灯籠飛ばし) 体験

11/ 9(日)

午前: 奨学生ター君の通う小学校での  
バリアフリー活動  
トイレへのスロープ舗装  
トイレ内壁へのペンキ塗り、外壁への  
絵描き  
午後: 子どもたちと交流  
チェンライ観光

11/10(月)

午前: 車いす提携工場「タイウィール」訪問  
午後: バンコク観光



車いす修理の様子



トイレ外壁への絵描き

### ツアー参加者の声

今回タイフレンドシップツアーに初めて参加しました。車いす修理活動を行って、現地では本当に古い車いすや手作りの車いすがあり、それを現在も使ってる人達のことを思うとなんとしても修理したいと思いました。ツアー前の修理練習で習った基本的な修理はほとんどなく、ドリルで穴を開けたり、ものを押さえたりしか出来ませんでした。最終的に皆さんと力をあわせて30台の車いすの修理が出来ました。

次の機会があればもっとスキルをあげて、もっと修理が出来るようにしたいです

(株) デンソーIC技術1部 岩崎さんより

### 訪問先内容

- チェンライ特殊教育センター  
車いす修理ボランティア、車いす4台寄贈
- チェンライ県バーンサララ小学校  
トイレスロープ舗装工事、トイレ内壁ペンキ塗り外壁絵描き

## タイ 学校バリアフリー報告



バリアフリートイレとスロープを作ってくれてありがとうございます! 一人でトイレにいけるようになってうれしいです!



いただいたご寄付でター君の小学校バリアフリー工事をすることができました! またツアー参加者の皆さまにはバリアフリー工事のお手伝いをしていただきました。ご協力ありがとうございました!

ご寄付総額 158,000円

- トイレ建物材料 (鉄筋、屋根材、セメント)
- 引き戸、タイル(床、壁)、ペンキ
- 便器、洗面台、手すり

いただいたご寄付で購入したものの

## 中国フレンドシップツアー(9月3~7日雲南省・上海)

- 9/3(水)** 16:00セントレア発 上海経由  
00:25昆明着
- 9/4(木)** 午前:雲南省身体障がい者連合会訪問、華夏中等専門学校訪問・交流  
午後:武定県視察
- 9/5(金)** 午前:武定県身体障がい者協会訪問  
午後:武定県視察
- 9/6(土)** 午前:武定県視察  
夕方:上海へ移動 23:45上海着
- 9/7(日)** 午前:上海視察  
夕方:帰国の途へ 21:25セントレア着



バルーンアート大人気

### プログラム・内容

#### ◀訪問先▶

- 雲南省身体障がい者連合会・雲南地震被災者への義捐金贈呈
- 華夏中等専門学校・車いす30台 助学金30名寄贈及び生徒(バルーンアート)と職員(昼食会)の交流
- 武定県身体障がい者協会・車いす10台 寄贈及び職員(昼食会)と交流

### ツアー参加者の声



愛知淑徳大学  
早川 潤美さん

ディープな中国を味わえる雲南省での文化的な交流や、障がいを持った方たちとの触れ合いは大変貴重な経験となりました。現地の子供たちは活気があり、元気な笑顔いっぱいであげてくれて、こちらこそ心が温まりました。意義深い活動に参加できてよかったと感じています。

### 現地の声



華夏中等専門学校校長  
孫继先先生

アジア車いす交流センターの皆さんようこそいらっしゃいました。昨年に引き続き、車いす30台、助学金30名の寄贈をいただき大変感謝しています。本校は来年新校舎に移転し、規模も拡大する予定で、大学とのタイアップも計画しています。政治は混沌としています、民間レベルでこういった交流は今後とも継続して深めて行きたいと考えています。

## インドネシア

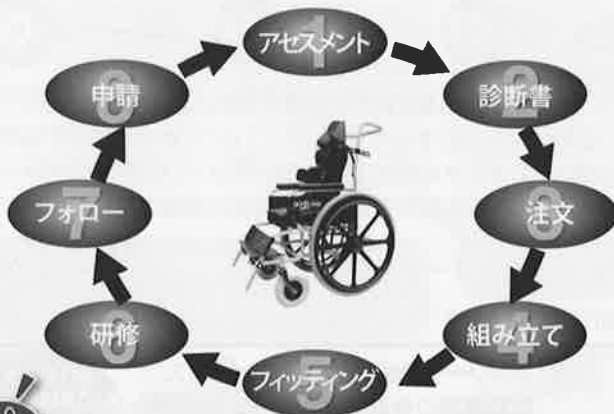
### WAFCAI(ワフカイ)活動開始!

11月中旬より、新しいスタッフ3名とともに、インドネシアでの活動がスタートしました!

タイに続く2カ国目の現地事務所となるインドネシアのオフィス(デンソーインドネシア社・スタ工場隣接地)が完成し、少しずつフィールドワークも開始しています。

インドネシアでの活動の特徴は、WHOの指導に基づき1人ひとりの体に合った車いすの提供と、丁寧なフォローアップを行うことです。

【参考】UCPRUKの車いすサービスモデル(WHO基準)  
※現地協力団体



### インドネシア豆知識!

インドネシアは約2億5000万の人口と、東西5,000km、1万7500の島々からなる多様な国家です。WAFCAIの拠点である首都ジャカルタでは960万人が暮らし、周辺には多くの日系企業が進出しています。このように経済発展が進む一方で、障がい者への支援はまだまだ行き届いていないのが現状です。

### これまでのあゆみと今後の予定

2012年

調査開始

2014年

3月 日本大使館助成金事業開始 7月 現地財団登記

11月 オフィス完成  
フィールドワーク開始

12月 インドネシア全国障がい者  
フォーラム参加

2015年

1月 29日 WAFCAI開所式  
車いす寄贈開始



### スタッフ紹介



Agus(アグス)さん  
プロジェクトリーダー



Evi(エフィ)さん  
事務・総務担当



Aiy(アイ)さん  
経理・在庫管理担当

# 「ドリーム&フレンドシップキャンプ」応援募金

このキャンプは、障がい児同士の交流や、職業訓練学校の訪問を通してそれぞれの得意分野を生かした将来の目標づくりを行うことを目的に開催されているものです。昨年は129名の参加者が集まりました!

今回は、デンソータイランドバンパコン工場の訪問を加え、障がい者でも働ける会社紹介や、就職するために必要なスキルを紹介するなど、就労のイメージをより具体的に持ってもらう機会を提供します。

しかし、遠隔地からの参加者に対する交通費、近隣の企業訪問に掛かる費用など、キャンプの運営費が不足しています。障がい児一人ひとりの夢の実現に向けた大きなきっかけとなるこのキャンプを、ぜひ皆さん応援してください!

キャンプの開催にあと  
**10万円が**  
必要です!



- 開催日程:2015年1月22日~25日(4日間)
- 開催場所:パタヤー特殊教育センター(タイ中部)
- プログラム:「キャリア探検~夢を楽しもう!」
  - ・障がい者が働く会社訪問
  - ・実際に働く先輩インタビュー
  - ・ジェッサダー君(P.1)の日本研修報告など

**【ご入金方法】**.....

①クレジットカード ( <a href="http://wafca.jp">http://wafca.jp</a> よりお手続き下さい)	<口座名称>	<口座番号>
②給与天引き(デンソー社員、一部デンソーグループ社員の方)	特定非営利活動法人 アジア車いす交流センター トクヒアジアクルマイスコウリュウセン	・郵便振替 00860-1-76081 ・三菱東京UFJ銀行 刈谷支店 普通 1774869 ・三井住友銀行 刈谷支店 普通 6529839
③振込		

**1,000円/1口からご寄付をお待ちしております! 締切日: 2月27日(金)**

**税額控除お忘れなく!** WAFCAは「認定NPO法人」です。2014年2月1日よりご支援いただいた賛助会費、またご寄付に、所得税等の控除を受けることができます。申告に必要な『寄付金受領証明書(領収書)』は来年1月にすべての賛助会員、奨学金提供者、ご寄付をいただいた方にお送りする予定です。なお税控除を受けるためには住民票と同じ住所が記載された寄付金受領証明書(領収書)が必要です。ご住所の変更がありましたらWAFCAまでご連絡下さい。

◆例えば奨学金(1口=20,000円)のご支援を頂くと・・・◆  
20,000円の内、2,000円を超える金額部分の40%が所得税(所得税の25%を限度とする)から、10%が住民税から控除。  
所得税(¥20,000-¥2,000)×0.4=¥7,200、住民税(¥20,000-¥2,000)×0.1=¥1,800⇒合計¥9,000が控除  
※ご注意:所得金額やお住まいの市町村の条例により異なります



・事務局コラム「自転車がつなぐご縁」  
刈谷市のA保育園から、WAFCAに電話がありました。「『WAFCA車いす病院』のラベルが貼ってある自転車が放置されている。何とかならないか・」WAFCAとしてほっておけない!と、修理依頼者に一人ひとり電話連絡をした結果・Fさんに行き当たりました。Fさん「いやー、盗られてあきらめてました。愛着があるので引取りたいです。」しかし、一年以上放置されたその自転車は、タイヤの空気は抜け、錆だらけ。。そこで、WAFCAできれいに丁寧に修理し、ピカピカになって、Fさんの元に戻りました。WAFCAの修理ラベルが、自転車の発見・再生と持主の笑顔を生み出しました。車いす病院のラベルが再会のきっかけを与えてくれた心温まる瞬間でした。

●現在の会員数(2014年11月末現在)

個人会員	団体会員	合計
正会員 1,391名	正会員 43名	2,520名 (3,107口)
賛助会員 1,060名	賛助会員 11名	
学生会員 15名		

●寄付企業・団体一覧(2014年6月~10月)

デンソー班長会	デンソー労働組合	(株)アベックス	<p>※順不同・敬称略</p>
刈谷市立刈谷東中学校	愛知健康の森走遊会	(株)シェフランチ	
あいち障害者フライングディスク協会	デンソー電子事業部	(株)デンソーセールス	
サントリービバレッジサービス(株)	イオンビッグ(株)	(株)大桜アネシス	
ジェコー(株)	(株)P S ビバレッジ	萬珍軒	

**WAFCA事務局 連絡先**

- 電話:0566-23-5822
  - Eメール:ZC8WAFCA@denso.co.jp
  - 内線:5990-200(デンソー社内より)
  - 事務所受付時間:月~金 8:40~17:40
- 祝日可 GW、夏季、年末年始の長期連休は除く)ご来所の際は、事前にご連絡をいただけると幸いです。